

湖岸緑地社会実験（第4回）の検証結果について ～利用状況とアンケート調査の結果から～

■趣旨

都市公園湖岸緑地には、琵琶湖岸の開放感を満喫しながら休憩や散策などが楽しめる大きな魅力がある。近年、バーベキュー、キャンプ等で県内外から多くの利用者が訪れるようになり、人気集中し混雑しているエリアでは、駐車場の場所取りや区画外駐車、ゴミの投棄、火の不始末、手洗い用水の大量使用等、マナーに反する行為が頻発している。それに伴い、ゴミ処分費や修繕費などの維持管理コストが高んでいるが、巡視の強化などで利用適正化を図るには新たなコスト負担が必要となることも課題である。

そもそも、バーベキュー、キャンプ等での長時間の占有は、休憩や散策など都市公園の一般的な利用の範囲を超えるものである。また、都市公園内での火気を伴う利用は指定された区域でのみ可能である。このような利用の集中は、都市公園の一般的な利用を毀損することにつながるものである。

バーベキュー、キャンプ等の利用自体は、琵琶湖岸の公園に特有の楽しみ方として許容してきた経緯があり、今後も管理者が許可する区域ではこれを受け入れていくことを基本とするが、都市公園の一般的な利用を制限することなく、オーバーユースを的確に抑制する仕組みを導入する必要がある。

そこで、湖岸緑地の利用適正化と利便性や快適性の向上を図るため、利用者にも一定のコスト負担を求めることも念頭に、令和5年度から駐車場の有料化や適正駐車管理などの社会実験を重ねてきた。

今回は、令和6年10月12～14日および19・20日に実施した第4回社会実験の検証結果をまとめるものである。



《写真：社会実験実施状況（10/13撮影）》

■第4回社会実験

<概要>

第4回社会実験では、「志那1（南）と（中）」（草津市志那町）の駐車場において、有料・事前予約制とした。

○期間 パート1：令和6年10月12日（土）～10月14日（月・祝）

パート2：令和6年10月19日（土）～10月20日（日）

○場所 都市公園湖岸緑地志那1（中）・（南）駐車場 100台

※志那1（北）駐車場は閉鎖

○料金 デイ利用 10時～18時（8h）2,000円/台 : 50台

泊利用 13時～翌11時（23h）4,000円/台 : 50台



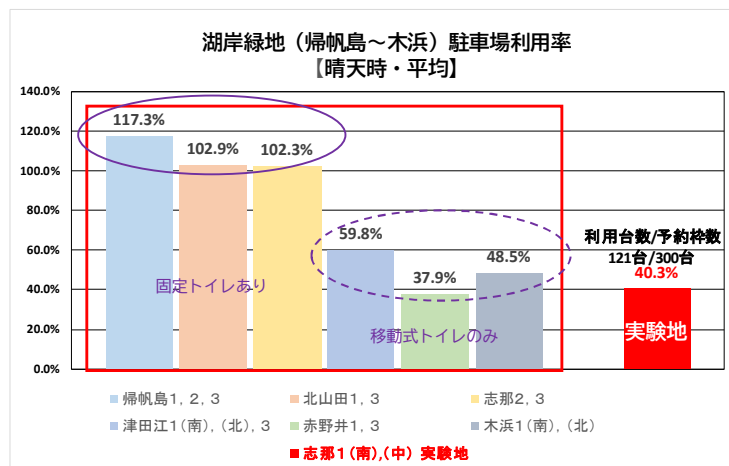
<社会実験中の利用状況>

○利用台数：121台

(デイ利用：104台、泊利用：17台)

○実験を行った駐車場(有料)では、マナーよく利用されていた。

○周辺の駐車場(無料、固定トイレがある等、同じ条件の「帰帆島」「北山田」および「志那2」)では、一部枠外駐車もあり、ほぼ満車状態であった。(有料とした「志那1」の利用を避ける人が多かった。)



第4回 湖岸緑地 社会実験 利用台数・利用率

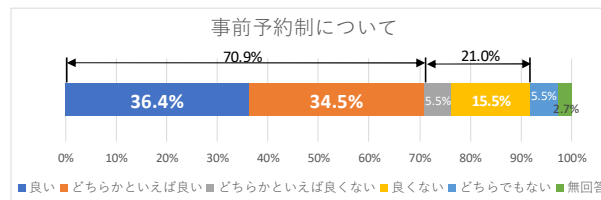
	定数(台)		10月12日	10月13日	10月14日	10月19日	10月20日	合計 (台)
	日	全体	晴	晴	晴	雨	晴	
デイ	50	250	10	40	28	0	26	104
泊	50	150	5	12		0		17
合計	100	400	15	52	28	0	26	121
利用率	デイ		20.0%	80.0%	56.0%	0.0%	52.0%	41.6%
	泊		10.0%	24.0%		0.0%		11.3%
	全体		15.0%	52.0%	56.0%	0.0%	52.0%	30.3%

<アンケート結果>

○アンケート回答数: 110件

○事前予約制について(右上図)

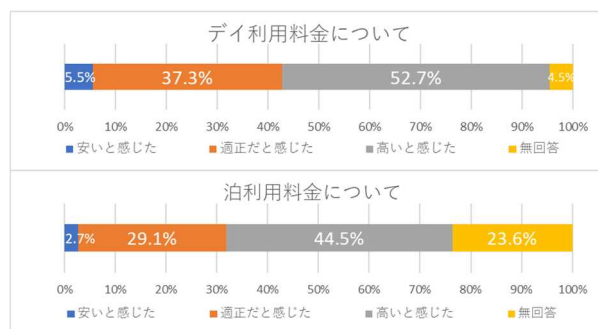
- ・肯定的である意見(「良い」、「どちらかといえば良い」)は7割以上であった。



○利用料金について(右中図)

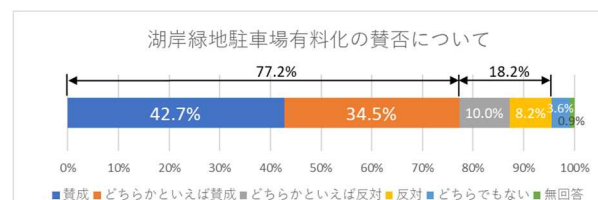
《デイ利用(上)、泊利用(下)》

- ・デイ利用料金(10時～18時(8h) 2,000円/台)、泊利用料金(12時～翌11時(23h) 4,000円/台)ともに「高いと感じた」とした方が、「適正だと感じた」とした方を上回った。



○湖岸緑地駐車場有料化の賛否について(右下図)

- ・肯定的である意見(「賛成」、「どちらかといえば賛成」)は7割以上であった。



○主な意見

- ・トイレ・水洗い場・駐車場拡張等の整備を希望。
- ・利用料金をトイレ・駐車場・緑地の維持管理に充ててきれいにしてほしい。
- ・予約制は出入りもでき、安心して利用できた。
- ・ゴミ回収がありがたかった。
- ・気軽に訪れにくくなる。短時間利用ができない。利用者が減っている。
- ・時間制を希望。
- ・金額が高い。安くしてほしい。県民割がほしい。
- ・有料なら緑地の手入れやトイレ清掃などサービス向上が必要。

<第4回社会実験の結果の考察>

- 今回、実験駐車場の利用率は、全体は3割程度、デイ利用は4割程度、泊利用は1割程度であった。
一方、周辺の駐車場（無料、固定トイレがある等同じ条件の「帰帆島」「北山田」および「志那2」）では、晴天日はほぼ満車状態であり、一部枠外駐車もあった。実験駐車場周辺の無料の駐車場に流れた車が多かったものと考えられ、人気の高い同条件の複数箇所一帯を的確にコントロールする仕組みを検討していく必要がある。
- 事前予約制有料駐車場に対しては、概ね好評価は得られたが、料金設定が高いと感じた方が多く、今後も適切な料金について検討していく必要がある。
- ゴミ回収サービスに対しては、肯定的な評価が多くあり、予約制やゴミ回収を含むバーベキュー・キャンプ場に対する一定のニーズを確認できた。
- アンケートへの自由記載では、駐車場有料化に対して、これまでに第1回、第2回の社会実験で集めた意見と同様に、マナー向上への期待、トイレや洗い場の整備、緑地の適切な維持を求める意見が多かった。